

V. 埋蔵文化財センターの活動

資料の貸出・提供

貸出先	目的	遺跡名	貸出・提出資料	日付
中日新聞編集部	中日新聞尾張版企画「歴史探訪」に使用するため。	朝日遺跡	第154集 朝日遺跡(総集編) 05C区(154-012.jpg)	1点 2018/4/6
愛知県陶磁美術館	特別企画展「知られざる古代の名陶 猿投窯」に使用するため。	志賀公園遺跡	第90集 志賀公園遺跡 E-177 他 遺物12点に関わる写真	15点 2018/4/13
瀬戸市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会	平成30年度企画展「中世山茶碗展」に使用するため。	松河戸遺跡	第48集 松河戸遺跡 048-019.jpg 048-020.jpg	2点 2018/4/18
豊橋市教育委員会	展示会「みかわの城 吉田城と天下人」に使用するため。	清洲城下町遺跡	第99集 清洲城下町遺跡VIII 写真図版1,2掲載写真 2点 織期豊清洲城下町概要図1点	3点 2018/4/18
岡崎市	平成30年度 鹿乗川改修に関する要望書の資料に使用するため。	下懸・寄島遺跡	下懸・寄島遺跡 発掘通信(2017.2.16発行)掲載 調査地点遠景(南西から)1点	1点 2018/4/23
愛知県総務部	平成29年度刊行「愛知県史 通史編3 中世2・織豊」の紹介展示に使用するため。	清洲城下町遺跡	清洲城下町遺跡の噴砂の地層 写真	1点 2018/5/10
新城市教育委員会	新城市長篠城址史跡保存館において中山砦跡出土の鉄鎌を展示する際に使用するため。	中山砦跡	第193集 中山砦跡 掲載の図面および写真	11点 2018/5/16
公益財団法人岐阜市文化振興事業団	特別展『瀬戸物として売られた美濃焼・江戸時代の焼物生産と販売』に利用するため。	朝日遺跡	第3集 勝川遺跡 図版13-1 上面遺構(003-005)1点 勝川遺跡 図版15-2 SE11 SX21 (003-011)1点 第15集 名古屋城三の丸遺跡I 調査区上空より名古屋城(015-001)1点 名古屋城三の丸遺跡I 図版15-1 上層の遺構(015-018)1点 第16集 名古屋城三の丸遺跡II 調査区上空より名古屋城(016-001)1点 名古屋城三の丸遺跡II 図版9 上 II期の遺構(016-012)1点 第44集 名古屋城三の丸遺跡IV 卷頭カラー 調査区全景(044-001)1点 名古屋城三の丸遺跡IV 図版1 上面遺構(044-zuhan1)1点	8点 2018/5/21
一宮市博物館	夏季イベント「博物館で夏祭り」に使用するため。		壺釣り道具一式	1点 2018/5/29
豊田市郷土資料館	豊田市新博物館整備事業のPRのため「橋の下世界音楽祭」に出演するため。	朝日遺跡	銅鐸レプリカ 一式	1点 2018/5/29
戎光祥出版株式会社	書籍『清須会議』(著者:柴裕之)に掲載するため。	清洲城下町遺跡	第183集 清洲城下町遺跡 遺構写真(183-02.jpg) 第99集 清洲城下町遺跡 石垣の写真(099-004.jpg) 第17集 清洲城下町遺跡 土師器出土状況(017-023.jpg) 第17集 清洲城下町遺跡 噴砂写真(017-S066.jpg)	4点 2018/6/8
愛知県総務部	平成30年度『県史連続講座』広報用チラシに利用するため。	下津宿遺跡	第175集 下津宿遺跡 墨書き器写真(175-524.jpg) 土師器皿の写真(175-930.jpg)	2点 2018/6/15
愛知県総務部	『愛知県史 別編 文化財5 工芸』に利用するため。	桑下城跡	第181集 桑下城跡出土 菊花双鶴鏡写真(181-001.jpg)	1点 2018/6/19
公益財団法人瀬戸市文化振興財団	企画展『瀬戸窯の復興—黎明期の江戸時代窯業—』に利用するため。	名古屋城三の丸遺跡 瓶子窯跡	第15集 名古屋城三の丸遺跡I 遺跡遠景写真(015-001.jpg) 第15集 名古屋城三の丸遺跡I 遺構SK415写真(015-019.jpg) 第16集 名古屋城三の丸遺跡II 遺跡遠景写真(016-001.jpg) 第121集 名古屋城三の丸遺跡VII 遺跡遠景写真(127-001.jpg) 第121集 名古屋城三の丸遺跡VII 遺構SX02写真(127-012.jpg) 第135集 瓶子窯跡 遺物出土状況写真(135-017.jpg)0135-021.jpg)	7点 2018/6/20
滝沢市埋蔵文化財センター	『遺物解説パネル』に利用するため。	勝川遺跡 志賀公園遺跡	第121集 勝川遺跡 IV PLI21-54 (121-54.pdf) 第90集 志賀公園遺跡 遺物写真 427 (090-071.jpg) 第90集 志賀公園遺跡 遺物写真 607 (090-086.jpg)	3点 2018/6/22
蒲郡市博物館	企画展『アカヒコムラ-みかんの下の弥生時代』に利用するため。	諫訪遺跡 朝日遺跡 東光寺遺跡 八王子遺跡 猫島遺跡	第7集 諫訪遺跡 遺構写真 4点 第30集 朝日遺跡 遺構写真 4点 第42集 東光寺遺跡 遺構写真 4点 第92集 八王子遺跡 遺構写真 1点 第107集 猫島遺跡 遺構写真 1点	14点 2018/8/24
鈴鹿市教育委員会	企画展『中世陶器の魅力—椎山の中世陶器part3ー』に利用するため。	桑下東窯跡 上品野西金地遺跡 桜鐘古窯跡 夏敷古窯跡 蛇廻間古窯跡 鷺古窯跡	第164集 桑下東窯跡 遺物写真 15点30カット 第173集 上品野西金地遺跡 遺物写真 7点22カット 第153集 桜鐘古窯跡 遺物写真 7点 7カット 第152集 夏敷古窯跡 蛇廻間古窯跡 遺物写真 5点 5カット 第109集 鷺古窯跡 遺物写真 4点 8カット	72点 2018/10/5
知多メディアネットワーク株式会社 メディア事業部	テレビ番組『歴史はっけん! クイズまちほれワンワン卯ノ里小学校区編』に利用するため。	八巻古窯群	第202集 八巻古窯群 掲載写真	14点 2018/10/22
西尾市教育委員会	『新編西尾市史 資料編1 考古』(平成31年3月刊行予定)に利用するため。	下山古墳 鳥羽城跡 西川原古墳	第6集 下山古墳 掲載写真 2点 第69集 鳥羽城跡 掲載写真 5点 第100集 西川原古墳 掲載写真 4点	11点 2018/10/26
国立歴史民俗博物館	雑誌『延喜式研究』終刊に伴うネット公開に利用するため。	勝川遺跡	勝川遺跡出土 人形 昭和62年度年報 49P掲載 1点 勝川遺跡出土 墨書き器 昭和62年度年報 51P掲載 1点	2点 2018/12/4
名古屋大学減災連携研究センター	名古屋大学減災館1Fに展示利用するため。	清洲城下町遺跡	清洲城下町遺跡 天正地震における液状化痕跡の剥ぎ取り	1点 2018/12/10
愛知県総務部	『愛知県史 通史編4 近世1』に利用するため。	名古屋城三の丸遺跡	名古屋城三の丸遺跡 焼塙写真(161-247.jpg)	1点 2018/12/21
設楽町議会	「したら議会だより 53号」に利用するため。	滝瀬遺跡	滝瀬遺跡 発掘調査現地説明会時の写真	1点 2019/1/17
豊橋市教育委員会	企画展「濠に閉まれた弥生時代のムラ」展に利用するため。	朝日遺跡	朝日遺跡 防御施設復元図	1点 2019/1/17

ホームページ

公開ファイル

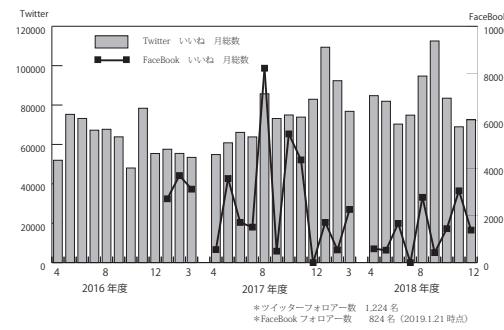
歴史講座などの資料PDFを追加。過去に刊行された年報について、一部PDF化を実施し公開。また、奈良文化財研究所が管理する「全国遺跡報告総覧」へも報告書PDFを登録した。

報告書PDF	260件
説明会資料	73件
年報PDF	402件
研究紀要PDF	179件
その他チラシ類	53件
設楽通信など広報誌	125件
歴史講座などの資料	19件
遺跡位置登録	260件
遺跡アルバム	41,483点
図書室公開データ	17,832点

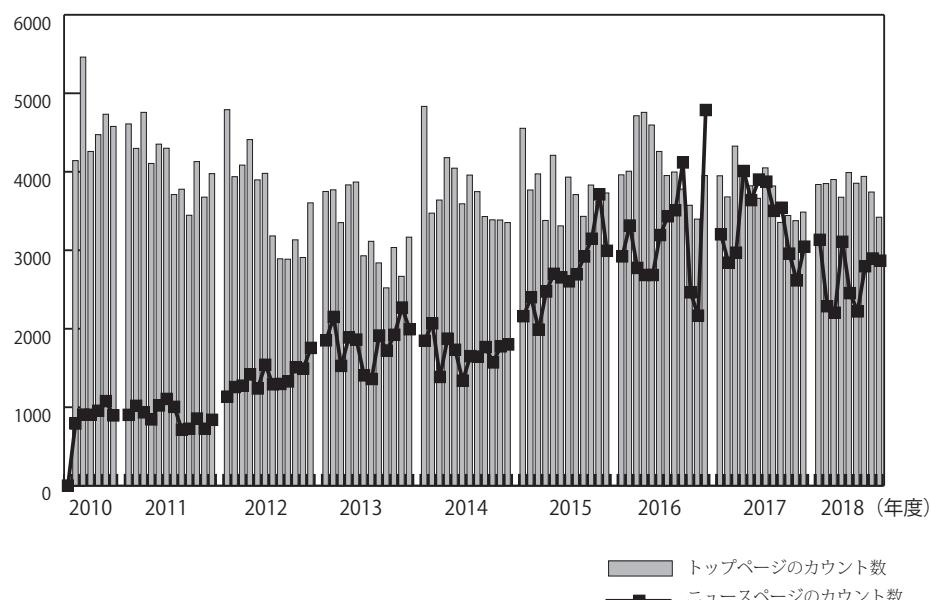
ホームページのアクセス数について

主要なトップページなどのアクセス数を見る。2010年10月にXoopsによるサイト構築以降の変化を示している。トップページのレイアウトをはじめ、構造的に大きな変更をしなかった期間となる。この期間を見ると、トップページのアクセス数は、2013年度に減少したが、その後3,000から4,000ヒットで横ばいを示している。一方、ニュースサイトに関しては2017年度をピークに増加と減少がみられた。これは、RSSの流行に連動しているものと推測する。このRSSの衰退に伴い、増加したのがSNSである。

そこで、当センターのTwitterとFaceBookの「いいね」のカウントの変化をみる。当センターのツイッターは、全職員の輪番によって文化財に関わる話題を日替わりで提供しているものである。また月によって、カウント数の変動はあるものの、概ね増加傾向がみられる。一方、フェイスブックはHPの更新情報を掲載しているが、更新回数に比例して数が減少している。現在のフォロワー数はツイッターが1,224名、フェイスブックが824名。2017年1月時点では、ツイッターのフォロワーが776名、フェイスブックが687名であった。



SNSのアクセス数の変化



トップページなどのアクセス数の変化

その他普及事業

家族の絆づくり事業「レッツ！発掘体験と温泉」

主催：(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団
 共催：(株) 旭高原、(有) ささゆり、中日新聞社
 主管：愛知県旭高原少年自然の家
 愛知県埋蔵文化財センター
 後援：愛知県教育委員会 豊田市教育委員会
 日時：平成30年10月27日（土）～28日（日）

1泊2日

対象：小学生以上の子供とその家族
 参加者：13家族（41名）

事業全体は、愛知県旭高原少年自然の家が主管となって実施されたものである。そのなかで、10月27日の発掘体験のみ、愛知県埋蔵文化財センターによる進行をした。内容は、以下の通りである。

開催場所：滝瀬遺跡18Ba区および休憩所内

13:00 はじめましての会
 13:30 作業にあたっての説明など
 14:00 滝瀬遺跡18Ba区での発掘体験
 オリジナルの出土遺物の拓本体験
 16:00 終了

当日は、現場調査の発掘作業と、室内調査を代表して拓本作業を体験していただいた。参加者多数であったため、参加者全体を2グループに分け、交互にスケジュールを進めていった。

発掘体験では、遺跡から（土の中から）実際に土器・石器が出土することを感じてもらうことを目的とした。また、拓本作業では、資料化の工程の一端を体験してもらうことを目的とした。いずれも、本物の資料を用いた調査の中で行われることであり、楽しい中にも、考古学的見地に基づいた作業の必要性を、実体験してもらった。



レッツ！発掘体験と温泉
発掘体験メニュー 発掘体験
2018年10月27日 愛知県埋蔵文化財センター

外での発掘体験、楽しみです。
 楽しく発掘体験するため、少しだけお約束をしましょう。

●発掘調査・・・・

1. どの層から、建物のあと（遺構）や
 土器・石器など（遺物）が出るのか、確認します。
 2. 土の中から、遺構や遺物を探し、さらに掘り出します。
 3. 遺構の様子や、遺物の出た場所などの記録をとります。

今日は、**2. 土の中から、遺構や遺物を探し、さらに掘り出します。** を体験します。
 ※実際に、土の中から土器・石器が出土していることを感じてね。

●発掘体験での注意

1. 今、調査を行っている遺跡のなかに入ります。
 担当職員の指示をよく聞いて、掘ってね。
 2. 掘り出した土器や石器は、掘り出したママで置いておきます。
 取り上げないでね。
 3. 掘り出した土器や石器は、お持ち帰りできません。
 4. 本物の遺跡での発掘です。土器・石器が出そうな場所を握りますが、
 土器・石器がない場合もあります。そのときはごめんなさい。

発掘の道具

黒曜石剣片石核類の出土地点
 チャップ袋の位置が黒曜石。この日以前にも
 すでに10点ほど出土した。

手ガリや手スコで、少しずつ掘っていきます。
 土器や石器が出てきたら、そのままにします。
 その場所に竹串を刺して、わかるようにします。



発掘体験の様子

◀当日配付資料（発掘作業用）

考古学にまつわるお話や、遺物についての説明は、事前に室内で行った。

事前説明の最後には、これから発掘作業に入る遺跡から実際に出土した遺物を、参加者全員に手に取って見てもらった。どのような遺物が出土するか、遺物を見つけたらどうすればいいのかなどについて、詳細にお話しした。

家族の体験活動推進事業「家族でヒ・ラ・メ・ク佐野遺跡」

趣旨：一宮総合運動場内に含まれる佐野遺跡（縄文時代）の土器・石器資料をもとに、昔の人たちの生活にふれながら、家族や仲間のコミュニケーションを図る場を提供する。

主催：(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団

主管：愛知県一宮総合運動場

後援：愛知県教育委員会 一宮市教育委員会

協力：一宮市博物館 愛知県埋蔵文化財センター

日程：9月29日（土）

会場：愛知県一宮総合運動場 会議室

対象者・参加人数：小学生とその家族・5家族19名

13:30 開会

◎佐野遺跡の解説

- ・佐野遺跡の土器・石器を手に取れる形で展示
- ・一宮市博物館学芸員瀧はる香氏による遺跡解説

◎ヒラメク佐野遺跡

- ・出土資料の石器を観察して「つかいかた（用途）」を考える
- ・家族ごとに発表資料をまとめ、代表者が発表

◎石器の使用方法の一例体験

- ・簡易あみものキットによるあんぎん体験

16:00 終了

*参加賞1：製作した作品および製作キット

*参加賞2：一宮市博物館

遺跡カードNo.89「佐野遺跡」

家族で一緒に研究発表とあんぎん体験は参加小学生を中心に進められ、興味深いひらめきが示された後では熱心に体験していただけた。当日は雨天であったため遺跡解説は屋内で行われたが、現地の佐野遺跡の存在を初めて知ったという参加者も多く、「遺物」を実際に手に取り観察したことなどは好評であった。遺跡見学会に体験を加えたことでより身近な文化財として紹介する機会となつた。



佐野遺跡出土遺物（一宮市博物館蔵）



佐野遺跡の遺物観察



石器の使用方法の考案



石器の使用方法の発表



あんぎん体験

地元説明会・遺跡報告会

遺跡名	所在地	開催日	参加人数	
石原遺跡	設楽町川向	平成30年10月27日(土)	30名	地元説明会
滝瀬遺跡	設楽町八橋	平成30年11月10日(土)	30名	地元説明会
滝瀬遺跡	設楽町八橋	平成30年12月8日(土)	275名	現地説明会
一色青海遺跡	稻沢市平和町	平成31年1月19日(土)	73名	成果報告会 (於 メタウォータ下水道科学館あいち)
石原遺跡 滝瀬遺跡	設楽町川向 設楽町八橋	平成31年3月2日(土)	103名	成果報告会 (於 設楽町田口特産物振興センター)

報告書作成のための指導

遺跡名	指導日	指導者	所 属
川向東貝津遺跡	平成30年5月14日(月)	鈴木忠司	古代学協会
		神取龍生	幸田町教育委員会主査
	平成30年5月18日(金)	平井義敏	みよし市歴史民俗資料館主査
		白石浩之	愛知学院大学教授
		川合 剛	名古屋市博物館 調査研究員
		齋藤基生	名古屋学芸大学教授
		増子康眞	名古屋考古学会
	平成31年3月27日(水)	鈴木忠司	古代学協会
		白石浩之	愛知学院大学教授
		川合 剛	名古屋市博物館 調査研究員
北山窯跡・勘介窯跡	平成31年3月29日(金)	齋藤基生	名古屋学芸大学教授
		平井義敏	みよし市歴史民俗資料館主査
		神取龍生	幸田町教育委員会主査
		山下峰司	瀬戸市健康福祉部健康課主幹
		藤澤良祐	愛知学院大学教授
	平成31年2月19日(火)	岡本直久	瀬戸市文化振興財団
			埋蔵文化財センター所長
		松澤和人	瀬戸市文化振興財団
			埋蔵文化財センター主任
		尾野善裕	奈良文化財研究所都城発掘調査部 考古第二研究室室長
北丹波・東流遺跡	平成30年11月20日(水)		
清洲城下町遺跡	平成31年 1月11日(金)	藤澤良祐	愛知学院大学教授
	平成31年 3月26日(火)	杳名貴彦	国立科学博物館理工学研究部 研究主幹

発掘調査における遺構・遺物などの指導

遺跡名	指導日	指導者	所 属
石原遺跡	平成31年 3月 2日(土)	白石浩之	愛知学院大学教授
滝瀬遺跡	平成30年10月23日(火)	増子康眞	名古屋考古学会
	平成30年10月30日(火)	綿田弘実	長野県埋蔵文化財センター課長補佐
	平成30年11月 6日(火)	大塚達朗	南山大学教授

平成30年度 愛知県埋蔵文化財センター 組織一覧

運営協議会委員

稻葉伸道 名古屋大学名誉教授
 加藤安信 元学校法人大同学園顧問
 高妻洋成 独立行政法人国立文化財機構
 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長
 城ヶ谷和広 愛知県立昭和高等学校長
 杉山春記 愛知県都市教育長協議会会長
 安城市教育長
 竹内 誠 名古屋大学大学院環境学研究科教授
 玉山哲郎 愛知県教育委員会生涯学習スポーツ監
 都築暢也 中京大学客員教授

センター長

松原邦夫

副センター長

宮腰健司

管理課

管理課長	鹿取健司
主　　査	船橋孝彰
主　　事	土居　恵
主　　事	飯尾有里
主　　事	村岡　香

調査課

調査課長	池本正明
主任専門員	酒井俊彦 鈴木正貴
調査研究専門員	樋上　昇 堀木真美子
	永井宏幸 鬼頭　剛
	武部真木 蔭山誠一
	川添和暁 永井邦仁
	早野浩二
調査研究主任	鈴木恵介
調査研究主事	田中　良

考古学　伊藤秋男 南山大学名誉教授
 地理学　海津正倫 奈良大学教授
 発掘調査　赤塚次郎 元愛知県埋蔵文化財センター職員
 発掘調査　石黒立人 元愛知県埋蔵文化財センター職員
 保存科学　高妻洋成 独立行政法人国立文化財機構
 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長
 考古学　柴垣勇夫 元愛知淑徳大学教授
 岩石学　諏訪兼位 名古屋大学名誉教授
 形質人類学　多賀谷 昭 長野県看護大学特任教授・名誉教授
 文献史学　福岡猛志 日本福祉大学名誉教授
 考古学　藤澤良祐 愛知学院大学文学部教授
 建築史学　麓　和善 名古屋工業大学大学院教授
 発掘調査　松田　訓 元愛知県埋蔵文化財センター職員
 木材組織学　吉田正人 名古屋大学准教授
 考古学　動物学　渡辺　誠　名古屋大学名誉教授
 植物学

年報 平成30年度

平成31年3月

編集・発行 (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
印 刷 新日本法規出版株式会社
